

令和3年3月24日
国土交通省 中部地方整備局
静岡国道事務所

静岡県内の渋滞対策の今後の進め方を議論しました ～令和2年度 第2回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会を開催～

◆お知らせ内容

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会（以下、協議会）では、静岡県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくための取組を継続的に行っています。

今回、渋滞対策の進捗及び最新の ETC2.0 データによりモニタリングした渋滞状況を確認するとともに、今後の渋滞対策について確認しました。

● 議事

- ・渋滞対策の進捗と効果・影響について
- ・今後の渋滞対策について

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面決議としました。

資料

- ・別紙1：静岡県道路交通渋滞対策推進協議会の概要、名簿
- ・別紙2：議事要旨

※なお、会議資料は以下よりご確認ください。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/torikumi/suisui/jutaikyo/index.html>

1. 配布先等

静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ、浜松市政記者クラブ、沼津記者会、三島記者クラブ、富士市記者クラブ

2. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 副所長 こもり かずひろ 小森 和弘
計画課長 いえがき よしひろ 家垣 義洋

TEL 054-250-8900 FAX 054-252-5747

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24時間受付）

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会の概要

- ・「静岡県道路交通渋滞対策推進協議会」(以下「協議会」)では、静岡県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくための取組を継続的に行っています。
- ・平成24年度に、プローブデータをもとに道路利用者等の意見も踏まえて、「地域の主要渋滞箇所」を選定・公表しました。
- ・平成25年度以降、選定した主要渋滞箇所における渋滞対策の進捗の確認、最新のデータに基づく渋滞状況のモニタリング、新たな渋滞対策について検討を進めています。

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 名簿

	所 属	役 職
◎	中部地方整備局	静岡国道事務所長
	〃	建政部 都市整備課長
	〃	道路部 道路計画課長
	〃	道路部 地域道路課長
	〃	道路部 交通対策課長
	〃	沼津河川国道事務所長
	〃	浜松河川国道事務所長
	中部運輸局	交通政策部 計画調整官
	〃	静岡運輸支局長
	静岡県	交通基盤部 道路局 道路企画課長
	〃	交通基盤部 道路局 道路整備課長
	〃	交通基盤部 道路局 道路保全課長
	〃	交通基盤部 都市局 都市計画課長
	〃	交通基盤部 都市局 地域交通課長
	〃	交通基盤部 都市局 街路整備課長
	静岡市	建設局 道路部長
	〃	都市局 都市計画部 交通政策・MaaS担当部長
	浜松市	土木部 道路企画課長
	〃	都市整備部 交通政策課長
	静岡県警本部	交通部 参事官兼交通企画課長
	〃	交通部 交通規制課長
	中日本高速道路(株)東京支社	総務企画部 企画調整課長
	〃	保全・サービス事業部 交通技術課長
	〃	保全・サービス事業部 交通管制課長
	静岡県道路公社	常務理事
	静岡県トラック協会	専務理事
	静岡県バス協会	専務理事
	静岡県タクシー協会	専務理事
	事務局	
	中部地方整備局	静岡国道事務所 計画課
	中部運輸局	静岡運輸支局
	静岡県	交通基盤部 道路局 道路企画課
	静岡県警本部	交通部 交通規制課
	静岡市	建設局 道路部 道路計画課
	浜松市	土木部 道路企画課

令和2年度 第2回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

議事要旨

1. 議事

(審議)

- (1) 渋滞対策の進捗と効果・影響について
- (2) 今後の渋滞対策について

(報告)

- (1) コロナ禍の交通影響分析について

2. 議事要旨

- ・ 前回以降の渋滞対策の進捗を確認した。
- ・ 国道1号掛川バイパスへのSL看板の設置により、旅行速度が向上し一定の渋滞緩和が見られ、朝ピーク時の平均旅行速度が向上したことを確認した。
- ・ 国道139号西富士道路広見IC北進オフランプは、ソフト対策の効果は限定的で、依然、渋滞・滞留が発生していることを確認した。
- ・ 国道1号掛川バイパス下り線の西郷IC付近では、交通集中・加速車線長不足に起因した顕著な速度低下が発生していることから、西郷IC下りオンランプの改良工事を進めることを確認した。
- ・ 国道1号安新歩道橋交差点は、国道1号方面レーンの2車線化に向け、関係機関協議及び工事を進めることを確認した。
- ・ 国道1号長沼交差点等の長沼エリアにおける渋滞対策については、広域的な道路ネットワーク形成の視点にも留意しつつ、令和3年度夏までに立体化の対策の方向性を長沼WGにおいてとりまとめられるよう、国と静岡市が連携して検討を進めることを確認した。
- ・ 国道1号南安倍交差点～手越原交差点は、南安倍交差点において渋滞が発生していること、沿道施設の出入り等で事故が発生しているほか、従道路側においても渋滞が発生していること、死傷事故率が国道1号現道区間平均を上回る箇所が存在していることを踏まえ、渋滞・事故の要因分析を進めることを確認した。
- ・ 国道1号静清バイパスは、IC交差点を先頭とするオフランプの本線滞留が昭府IC、瀬名ICで発生しているとともに、1車線ランプの2車線利用が確認されたことを踏まえ、今後、渋滞の要因分析を進めることを確認した。
- ・ 国道138号須走道路・御殿場バイパス(西区間)は、須走口南IC～ぐみ沢IC間が令和3年4月10日に開通予定であり、開通により国道138号現道の渋滞緩和が期待されることを確認した。